

学力向上に効果のある取組事例

九重町立このえ緑陽中学校

⑨その他(協調学習の取組)

取組の具体

○「知識構成型ジグソー法」

教師が生徒の学ぶ力を引き出す助けとなる手法

STEP1: 本時のメイン課題について個人思考

STEP2: 【エキスパート活動】メイン課題のヒントをいくつかの班に分かれて学習

STEP3: 【ジグソー活動】異なるヒントを学んだ者同士の班に組み替えて、グループで改めて最初の課題を解決

STEP4: 【クロストーク】他の班の考えを聞き合い、さらに理解を見直し深める

STEP5: 最後にもう一度本時のメイン課題について個人思考

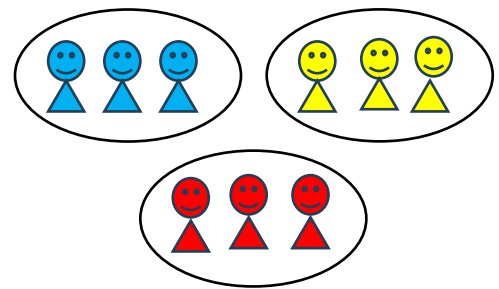
ア、主体的・対話的で深い学びにつなげる。

- ・先生が何をしたかではなく生徒がどう学んだかが重要。
- ・生徒がどんな活動をしたかではなく、その中で生徒がどんなふうに頭や心を働かせたかを振り返る。
- ・生徒たちのわかり方やつまづき方に焦点化した授業研究によって、今日の学びを適切に捉え、次のデザインにつなげる。

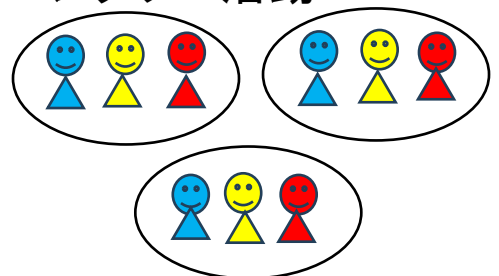
イ、仮説検証型の授業研究会を行う。

- ・協調学習の事前研では、授業者以外の職員が生徒役となり、実際の授業と同じ形式ですすめていく。そうすることで、授業者によるねらいや意図、具体的な学習の想定をしっかりと共有した上で、実際に生徒がどう学んでいるか、その対話や記述等を想定と比べながら見とる。
- ・授業研当日は、授業者以外の職員は一人の生徒に1時間ずっとついて、その生徒の思考の変化や生徒の学びの状況を見とり、事後研で「授業者のねらいが達成できたか」「生徒たちの学びの状況(思考の変化)」などを振り返る。
- ・見えてきたことを研究協議で共有、授業デザインや見とりの観点の見直しをする。

エキスパート活動



ジグソー活動



クロストーク

